

～八工 水だより～

VOL.4

令和2年（2020年）12月発行
熊本県八代工業用水道

ごあいさつ

熊本県企業局長 藤本 正浩



熊本県工業用水道のユーザー並びに関係者の皆様におかれましては、日頃から八代工業用水道事業の運営に御支援、御協力を賜るとともに、熊本県経済の発展に御貢献いただき、心より感謝申し上げます。

ます。

今年は7月豪雨災害が発生し県南地域を中心に多くの被害が発生しました。八代工業用水道の給水施設には幸い被害はありませんでしたが、引き続き、安定供給のため、適切な施設管理に努めてまいります。

八代工業用水道は、運営開始から40年以上

経過し、平成25年度から設備更新を行っていたところですが、今年8月に配水本管から漏水が発生し、関係者の皆様にはご迷惑お掛けし、申し訳ございませんでした。今後は、適切な設備の改修等を進め信頼性向上に努めていきたいと考えています。

企業局では厳しい経営状況や今後の設備更新費用増などを踏まえ、現在の浄水場の運転保守業務委託に加え、設備更新やユーザーの皆様へのサービスなどに民間活力を導入し、より効率的・効果的な運営を行えるよう、令和3年4月より工業用水道分野においては全国初となる「コンセッション方式」を導入します。

今後も丁寧な情報提供に努めて参りますので、引き続きよろしくご依頼申し上げます。

老朽化した設備の更新を進めています

八代工水では、各種設備の老朽化が進行しており、平成25年度から設備の更新を進めております。

令和元年度は、「薬注設備の更新」を行いました。

薬注設備とは、濁度及びPHを調整するため、工業用水に薬品を注入する設備です。熊本県では、水中に浮遊している粘土粒子等を凝集し沈降させるために、ポリ塩化アルミニウム(PAC)を注入しています。また、PACが酸性なので、PHを中性に保つように苛性ソーダを注入しています。

最新の設備に更新していたこともあり、令和2年7月豪雨時でも工水の浄水処理には、特段の支障を来さず運用することができました。

今後も、設備の改修等を進め、工業用水の安定供給に努めて参ります。



PACタンク



薬品注入ポンプ

令和3年4月より、コンセッション方式を導入します

～民間活力の導入によりサービス向上、経費節減を図ります～

これまで、有明工水・八代工水と一括してPPP／PFI(コンセッション方式)の導入手続きを進めてきましたが、令和2年10月に運営権者の選定を終え、令和3年4月からコンセッション方式を導入することとなりました。

コンセッション方式導入後の官民の役割分担(スキーム)は以下の図のようになります。

ユーザーの皆様におかれましては、現在は料金徴収(納入通知書発行、收受)やご利用に関する問合せは企業局総務経営課、量水器等の設備に関することは企業局工務課、日常の運用、一部ユーザーの皆様の検針業務については浄水

場職員(運転保守業務受託者)等、問合せや対応先が複数となっているところが、コンセッション方式導入後は、窓口を全て運営権者に一本化することにより、迅速な対応が期待されます。

施設の維持管理・更新については、運営権者の現地勤務者、関係メーカー技術員との連携や民間の創意工夫などにより、経済性と信頼性を高いレベルで両立した適切な運営が期待されます。

なお、ユーザーの皆様との給水契約や工業用水料金の許可、管路・トンネルの更新などについては、県が引き続き責任を持って取り組んで参ります。

コンセッションとは

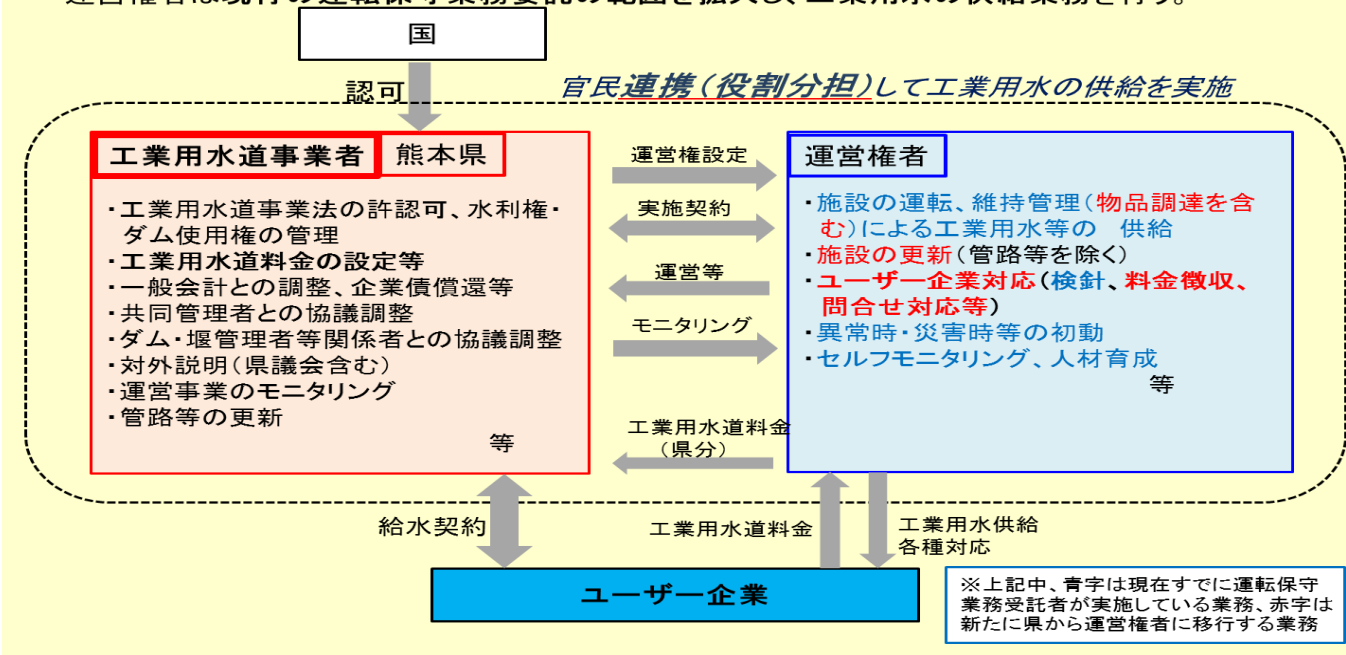
民間事業者が公共施設を一定期間運営する権利(運営権)を設定することを「コンセッション」と言い、運営する民間事業者を「運営権者」と言います。

土地・施設などの所有権を運営権者に売却してしまうものではなく、自治体が所有権を保有し、一定の関与をしながら、運営権者にはノウハウや資金を生かしてもらい公共施設の活用を図るものです。

コンセッション方式導入後のスキーム

熊本県工業用水道事業のコンセッションにおける官民の役割分担

- ・工業用水道事業の公共性や、関係団体(共同管理者、ダム・堰管理者)との関係等を考慮し、県が引き続き工業用水道事業法の事業者となり、料金の許可や管路の更新等を行う。
- ・運営権者は現行の運転保守業務委託の範囲を拡大し、工業用水の供給業務を行う。



運営権者のご紹介

- ・事業期間: 令和3年4月～令和22年3月(20年間)
- ・運営権者: ウォーターサークルくまもと株式会社
- ・所在地: 熊本県荒尾市荒尾2014番地1
- ・代表者: 代表取締役 松尾晃政
- ・資本金: 9,000万円

ウォーターサークルくまもと(株)は、事業を運営していくことを目的として設立された特別目的会社であり、代表企業であるメタウォーター(株)、(株)熊本県弘済会、西日本電信電話(株)、(株)ウエスコ、メタウォーターサービス(株)の5者で構成されています。



【公共施設等運営権実施契約締結式の写真】

経営概況をお知らせします

～令和元年度決算より～

八代工水は、長く赤字経営が続き、多額の累積欠損を抱えています。平成10年に上水道への一部転用をおこなったことなどから、概ね収支均衡基調となっており、令和元年度においても若干の黒字となっています。

しかし、今後は老朽化設備の更新が必要であり、収益の悪化が見込まれます。これからも、安定供給を確保しながら、需要開拓や経費縮減に取り組み、経営改善に努めてまいります。

1 業務量

項目	業務量
給水先事業所数	25 事業所
給水能力	27,300 m ³ /日
契約水量	10,363 m ³ /日
基本使用水量	8,006 m ³ /日

2 企業債等残高

項目	金額(千円)
企業債	342,000
一般会計借入金	1,766,560
苓北工業用水道事業からの借入金	350,616

3 財務状況(共同事業者負担分を除く)

貸借対照表	項目	金額(千円)	損益計算書	項目	金額(千円)
	総資産	1,921,785		総収入	150,401
負債	3,220,942	(内料金収入)	(117,828)		
資本	△1,299,157	総費用	124,803		
累積欠損金	1,322,187	当期損益	25,597		
		減価償却前当期損益	49,938		

～国営八代平野土地改良事業が実施されています～

農林水産省が主体となり、国営八代平野土地改良事業が平成30年度から実施されています。農業生産性の維持向上と農業経営の安定を目的として、排水システムの再編や施設の耐震化対策、水路の改修等を行うものです。

今回の事業では遙拝堰の改修も対象となっており、八代工業用水道は、球磨川を水源として遙拝堰から取水しているため、企業局を含め遙拝堰から取水している共同事業者は負担金を支払っています。



【遙拝堰】

工業用水の水質状況をお知らせします

～令和元年度水質検査結果より～

令和元年度 平均水質

皆様に供給している工業用水については、定期的に水質の検査をしています。令和元年度の平均水質は右表のとおり、供給規程上の水質基準(濁度10度以下、水素イオン濃度6.0～8.0)を超える日はありませんでした。

しかし、大雨などにより河川の濁りが著しくなった場合、浄水場の処理が追いつかず、一時的に水質基準を上回る場合があります。大雨の後の水の利用の際はご注意ください。

項目	計測値
水温(℃)	17.9
濁度(度)	0.2
水素イオン濃度(pH)	7.3
アルカリ度(ppm)	40.2
硬度(ppm)	41.3
蒸発残留物(ppm)	83.5
塩素イオン(ppm)	5.4
鉄イオン(ppm)	0.07

※詳しい情報は、県 HP でご覧いただけます。

熊本県工業用水道



漏水が発生し、ご迷惑をおかけしました

令和2年8月末に八代臨海工業団地内緑地帯で、工業用水を給水している配水本管からの漏水が確認されました。

復旧工事を行うには、水圧が高いため、一時的な断水が必要で、工水ユーザーの皆様のご協力を得ながら日時調整をさせていただき、9月13日(日)の仮復旧工事、9月27日(日)の本復旧

工事を実施させていただきました。お陰様をもちまして、給水支障事故には至らず、復旧することが出来ました。その節は大変ご不便、ご心配をお掛けしました。

今後は、施設の管理体制をより強化し、必要に応じ設備改修にも取り組みながら漏水発生防止に努めてまいります。



漏水状況(配水本管 φ700)



漏水箇所拡大



本復旧状況

お問い合わせ先

＜水質等配水に関すること＞
八代工業用水道管理事務所
TEL 0965-37-2164

＜ご利用に関すること＞
企業局総務経営課
TEL 096-333-2597
FAX 096-384-9114
E-mail

＜施設や工事に関すること＞
企業局工務課
TEL 096-333-2601
FAX 096-384-9114
E-mail

ksomukeiei@pref.kumamoto.lg.jp koumuka@pref.kumamoto.lg.jp

「八工 水だより」への感想や御意見をお寄せください。ksomukeiei@pref.kumamoto.lg.jp